

## 平成26年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	駒津 幸男
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3416
<b>事務事業名</b>	4172 間伐対策事業										
<b>所 属</b>	150100 産業振興部・農林課										
<b>施 策</b>	05012300 森林の多面的機能の維持保全と共生										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費									
	<b>事業</b>	040000 間伐対策事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。また、森林の施業の欠かせない、現況調査、歩道整備の行為に交付金を交付し、森林所有者を支援する。						除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。また、森林の施業に欠かせない、現況調査、歩道整備の行為に交付金を交付し、森林所有者を支援することにより、水源の涵養、山地災害の防止が図れる。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
間伐対策事業補助金18.14ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）23ha	間伐対策事業補助金102.61ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）31.3ha
平成26年度 予定	平成27年度 予定
間伐対策事業補助金45ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）30ha	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		3,350	3,621
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	675	675
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,675	2,946
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,350.0	3,621.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,350	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	84	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,537	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	森林の除間伐を適正に行い健全育成を図ることが出来た。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	同上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	間伐事業に対して市で10%の嵩上げ補助を行っているが、補助金をなくすと森林は荒れてくると予想される。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

手入れの遅れている森林の集約化により作業道の整備や間伐に取り組んでいるが、その財源は森林税によるところが多い。今後の森林の整備に関して森林税なくてはならないものになっている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
森林の作業道の整備や間伐は国、県、森林税、市の補助によるところが多い。森林地権者が多く集約化にも時間がかかっている。		森林は多くの資源を有しているが、その広大な整備について、膨大な費用と労力が必要となる。計画的な実施により、本来の森林が持つ自然の恵みが最大限発揮されるよう、引き続きできるところからその整備に努める。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	